

市政トピックス

# 市政功労者等を表彰 —市制施行129周年記念式

7月2日に仙台国際センターで市制施行129周年記念式を行い、市政功労者34人、議員待遇者1人、永年勤続委員169人を表彰しました。今回表彰された方のお名前は、次の通りです(順不同、敬称略)。

◆市政功労者(本市の振興発展に寄与された方)〔自治・消防功労〕熊谷英昭、蛇沼孝、七井英雄、平山新悦、今野均、佐藤斌夫、太田善雄、齋藤和平、今野勇、及川勇、村山すみ子、姉齒和郎、佐藤玲子、鈴木功、阿部教志、日下寛実、八木彌生、八島信夫〔健康・福祉功労〕齋藤達雄、小林真勝、児玉睦子、鈴木重良〔産業・経済功労〕岩崎一夫、庄子秀夫、中野勲、大場啓壽、阿部忠、鈴木文史朗、堀切川一男〔教育・文化功労〕二宮康明、山吹昭子、渡辺徹、八幡悦子〔環境功労〕工藤秀也

貴子、池田優、遊佐一郎、井坂和美、江戸三知子、菊地泰子、小関桂子、太田章子、熊谷幸子、松澤恵子、齋藤靖雄、金森美奈子、桑原美智子、上山葉子、稲邊真理、奥山静子、大山修子、日下なお子、佐藤潔子、関恭子、津田京子、遠藤弘子、木村洋子、大山養一、熊谷順子、八田ゆかり、熊谷紘一、塚原榮子、千葉正子、松根眞裕美、加藤理智子、内海祥子、石澤恵子、氏家洋子、郡山さやか、阿部征子、京陽子、高橋洋子、佐藤勝男、佐藤峰子、佐藤友一、今野祥、鹿目尚、櫻井いなよ、菅原勲、松川好孝、関義昌、金野明美、荒井忠男、庄司佳子、菅澤久子、庄司透、寺下昌子、鈴木良子、田中朋子、一井勝雄、遠藤良信、近江桂美、赤坂信子、横山久美子、伊藤宣子、加藤博之、高橋和子、伊藤特男、秋葉文雄、赤間園子、菅野隆二、菊地章、仲嶋一雄、山内啓子、齋藤由紀子、大場荘六、栗原まさよ、高橋美枝子、川下加寿子、竹川良夫、屋代英雄、渡辺宣雄、佐藤はるみ、加藤登志美、中野郁、岩泉順子、安齋裕子、阿部徹、岩並佐喜子、小林敦子、石田和恵、渡邊玉恵、遠藤昭一、大久保文子、鹿郷淳子、馬目敦子、尾形あさ子、阿部七重、堀江まさ子、佐藤千夏、堀田恵美子、櫻田絃子、森ヨシ子、

市政トピックス

市政トピックス

## 妊産婦や新生児のための避難所の設置訓練を実施しました

6月14日、仙台市医師会看護専門学校で、市内初となる周産期福祉避難所の設置訓練を実施しました。周産期福祉避難所とは、地域の指定避難所での生活が困難な出産間近や産後間もない方と新生児が、専門知識を持つ人や設備の充実により、安心して生活できる避難所です。訓練では、妊婦や乳児の母親役を演じた市職員に助産師が対応し、避難所開設を想定した流れを確認しました。周産期福祉避難所は、災害発生時に市内の看護学科を有する大学等6カ所に設置される予定です。



▲助産師が脈や血圧を測定し、妊産婦役の体調をチェックしました

市政トピックス

## 卸町地区を安全・安心な地域に

平成28年2月に復興公営住宅が完成し、商業地域から居住地域へ

市政トピックス

## 学生消防団員に活動認証状を交付

市では、消防団活動に継続的に取り組み、地域社会に貢献した大學生等の功績を認証する「仙台市学生消防団員活動認証制度」を4月より導入しています。6月26日、市内の大学生4人に、本制度初の認証状が市長から交付されました。認証を受けた学生は、就職活動で、消防団員としての実績を企業等にアピールすることができます。



学生の就職活動を支援するとともに、若者の消防団への入団を促進し、地域防災力の向上につなげていきます。

市政トピックス

## 震災の教訓をつなぐ —被災地へ緊急支援

6月18日に大阪府北部で発生した地震に伴い、市では6月19日から21日まで職員2人を現地に派遣しました。大阪市・高槻市・茨木市を訪問し、被災状況や現場のニーズ等を調査。本市の震災記録誌等を配布し、東日本大震災の経験や教訓を各被災地に伝えました。また、西日本を中心に記録的な大雨をもたらした「平成30年7月豪雨」では、7月7日に岡山県総社市へ、7月8日に愛媛県宇和島市へ各4人の先遣隊の派遣と支援物資の提供を実施。その後も被災地からの要請に応じて、罹災証明支援職員や保健師等を派遣しています。



▲派遣に当たり、職員を激励する出発式を開催

# 3.11 震災文庫を 読む

東日本大震災を語り継ぐため市民図書館に設けた「3・11震災文庫」。所蔵する約1万冊からよりすぐりの本を「紹介します」。

「命のバトン」津波を生きぬいた奇跡の牛の物語



堀米薫 / 著 佼成出版社 刊

「岬のマヨイガ」



柏葉幸子 / 著 講談社 刊

「命のバトン」は、角田市で農業、林業、和牛肥育に携わり、農業をテーマに子どもの本を書き続けている堀米薫さんのノンフィクションで、2013年に出版されました。海岸に近い宮城農業高校は1階が水没し、畜舎も破壊され、牛たちも流されますが、奇跡的に14頭の牛が戻ってきます。県内3カ所に分かれて授業が再開されるという厳しい状況の中で、震災から3カ月後に控えた県の「ホルスタイン共進会」に向けて、高校3年生の古木陽子さんたち3人の奮闘が始まります。先輩から引き継いだバトンを後輩に手渡すことができるのか、震災を乗り越え、牛たちの命に関わった高校生

●紹介した本は、市民図書館でご覧いただけます 問市民図書館 ☎261・1585